

赤平市議会議員 手づくりの議会広報紙

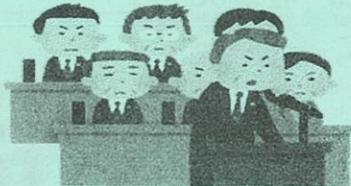
第3回定例会 (9月5日開会～9月16日閉会)

- 専決処分の承認を求めることについての審議 (令和4年度一般会計補正予算)
- 令和4年一般会計補正予算の審議
- 令和4年度介護保険特別会計補正予算の審議
- 令和3年度各会計決算認定の審議
- 条例の改正の審議
- 一般質問 7名
ほか

審議	
議案	17件
報告	2件
意見書案	3件

(結果)

原案どおり可決・承認・認定・同意
意見書案1件否決



定例会の様子

決算審査特別委員会 (9月9日～9月14日)

令和3年度各会計決算認定について、決算審査特別委員会が行われました。御家瀬委員長、東副委員長がそれぞれ選出された後、4日間でおおよそ6時間にわたり活発な質疑応答が行われました。

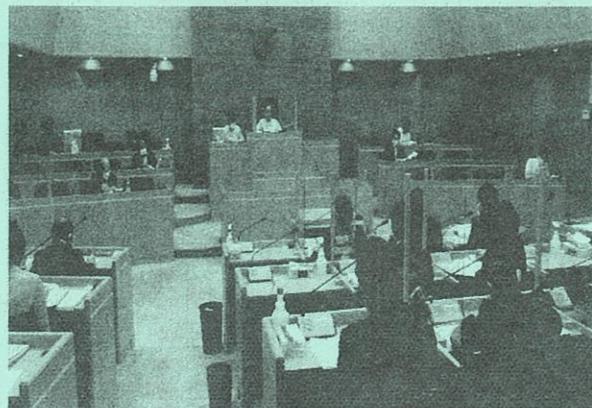
最終日には、市長総括質問が行われました。民主クラブ、日本共産党、新政クラブ、一刻者倶楽部の順番でそれぞれの代表者による総括質問が行われました。

採決では、すべての会計決算が全会一致で認定となりました。

※総括質問の要旨は5ページに掲載されています。



市長総括質問の様子



委員会質疑の様子

民主クラブ



伊藤新一

福祉灯油の実施について

【質問】 原油価格高騰に伴う灯油価格の高止まりにより生活に影響を及ぼす低所得者等に対し、経済的負担を軽減するため、福祉灯油の実施を行う考えはないか伺う。

【答弁】 令和4年度の福祉灯油について、現在社会福祉課において令和3年度と比較し支給対象者と支給額の拡大も含めた実施に向け作業を進めている。支給対象者支給額の拡大については、これまで住民税非課税世帯のうち、70歳以上の高齢者世帯、重度心身障害者世帯、ひとり親世帯に限定していたが、今般、それを拡充し、すべての住民税非課税世帯とすることや、これまでの10,000円から、さらに上乗せすべく検討している。

福祉灯油の制度化について

【質問】 過去の質問の答弁において福祉灯油の制度化について前向きな答弁があったが、

【質問】 4月発注予定の工事が、一ヶ月遅れたのは技術職員不足も原因ではないのか、また、工事資材費等が高騰しているが、施工期間内の請負代金の額等の変更についての考えを伺う。

【答弁】 雪解けの遅れやあんしん住宅建設助成事業の事務作業量の増により遅れたが、現在は順調である。技術職員不足との認識はない。

【質問】 建設事業の確保・事業量UPについて

【質問】 建設事業の確保・事業量のUPについての考えを伺う。

【答弁】

公営住宅や橋梁・都市公園等の長寿命化計画事業や生活基盤に直結した事業は有効な財源を活用し継続的に確保に努め、地域からの要望による事業も必要性を勘案し計画的に実施する。

公営住宅について

【質問】

公住の空き家の草刈りや除雪対策と空き家が生じたことにより移転を希望する高齢者、身体に障害のある

ったと思われるが、その後の様に検討されているのか伺う。

【答弁】

灯油価格の高止まりや、石油製品の高騰状態が続いたとすれば、経済の原理とした年金や賃金も物価に見合った措置がされてくるものと考えられ、福祉灯油を制度化するにはこのことを踏まえた上で考える必要がある。今年度については難しいものと考えているが、引き続き研究していく。

乗合タクシー実証運行について

【質問】

6月から実証運行がスタートしているが、実証運行の現状と利用拡大に向けた方策について伺う。

【答弁】

今年度は6月から来年3月までの長期間の実証運行、利用対象範囲を拡大した中で行っている。5月から事前の利用者登録の受付を行い、現在のところ前回より伸びている状況である。本市にとって近い将来、重要な役割を果たすモビリティの一つになると思っていることから、乗合タクシーの制度を知らない方に向けて、今後とも引き続き周知PRに努めてまいります。

日本共産党



木村 恵

個人情報保護について

【質問】

自衛隊への名簿提供について、昨年度は情報提供を行ったのか。行っていた場合、赤平市個人情報保護条例の除外規定、第9条の1号「本人の同意があるとき」について、どのような解釈で適用したのか。該当する個人が外部提供を望まない場合、その意思を確認する必要があると考えるが、どのように行うのか伺う。

【答弁】

審査会を開催し、「自衛官等募集事務に利用すること」を目的とする個人情報の提供については「正当である」と答申をいただいた。併せて「個人情報の提供を希望しない人を除く必要がある」との意見もいただいた。このことから、昨年度は情報提供を行なった。また、情報提供を希望しない市民への対応については、除外申請の周知を広報及びホームページで実施しているが、気づかない方もいると考えられることからの聞き取りや、札幌市で行われた新規就農フェアの視察に行き情報を得ている。現在本市では、赤平市農業後継者、担い手サポート事業により、支援を行っているが、拡充については、農業者からの聞き取りを行い精査していきたい。また、新規就農者の支援については、赤平市としてどのような受け入れ体制が必要かを進め考えていく。

民主クラブ



東 成一

世帯に転移費の助成と家賃等の軽減を検討しては如何か伺う。

【答弁】

職員が巡回し草刈りや冬の避難通路の確保、雪庇対策など安全確保に努めている。移転については、団地集約等市の都合による移転以外は、移転費助成等の対象としておりません。ご理解頂きたい。

農業経営者の高齢化、後継者不足について

【質問】

市内の農業従事者は、高齢化が進み後継者不足により、離農者が増加傾向である。Uターンして実家の後継者として就農する場合の支援の拡充と新規就農者に対する支援についての考えを伺う。

【答弁】

当市の農業は、67戸の農業者が営んでおり、平均年齢は約67歳と高齢化が進んでいる。当市としては、新規就農者について、近隣の市な

ることから、より対象者に周知が図られるよう周知方法を検討していく。

【質問】

旧3小学校活用検討会議について

【答弁】

協議内容はどうなっているか。また、「公共施設等総合管理計画」「個別計画」の中で、旧3小学校の活用方針、及び実施時期はどのように記載されているか伺う。

【質問】

協修費等ケースごとのコストを算出したが想定を上回り、将来を見据えた判断をしなければならぬことから慎重な意見が多く出た。今後は民間活用案などを中心に協議していく。統合後の現小学校については、他施設の機能移転先としての活用方策を提案しているが、実現にあたっては近隣住民を含めた議論のもと具体策を検討するとなっている。

【質問】

燃料、資材等の高騰に伴う農業者に対する支援について

【質問】

昨年の米価下落、燃料、資材の値上がりにより、農業経営者は苦境に立たされている。赤平市として経営が圧迫している農業者に対する支援についての考えを伺う。

【答弁】

肥料の価格上昇率は高く、国より高騰分の7割の支援策が示されたが、当市としても肥料費高騰分の残り3割を支援する補正予算を計上したところである。燃料、資材等の高騰に対する支援については、国内の動向を注視していく。

【質問】

スマート農業について

新政クラブ



北市 勲

市長就任一ヶ月の総括と公約の進捗について

【質問】

赤平しごと・ひと・まち総合戦略の推進に当たり、地域の振興や活性化及び人口減少のために民間活力を導く市政運営であるならば、持ち家住宅建設事業助成廃

新政クラブ



安藤 繁

児童福祉について

【質問】

全国的に保育所での事故が増えているが、事故防止対策と職員体制、賃金の実態について伺う。

【答弁】

危機意識を共有し事故防止対策について協議し改善している。職員体制は国の基準を満たしており、賃金も市の職員給与条例により支給している。

太陽光発電施設設置規制条例の制定について

【質問】

昨年6月の定例会以降の取り組み内容と研究の成果を伺う。

【答弁】

近隣住民の切実な声を聴き、他の自治体の条例も入手した。情報収集等に時間を要したが、条例制定に向けて検討してまいります。

建設事業について

【答弁】

総合戦略の推進には民間の活力は不可欠であり、「地元産業の強みを生かした雇用の確保と地域産業の振興」は、コロナ禍の中、産業を維持し守るために中小企業支援に終始してきた。雇用の確保については合同企業説明会を実施し、商店街の賑わいには「スーパープレミアム付き商品券」や「助け合い商品券」を発行してきた。就任以来、民間活力を導く市政運営についてはコロナ禍もあり十分な実施が出来たとは言えない。持ち家住宅建設事業助成の廃止後も「あんしん住宅助成事業」の助成率を拡充し助成限度額も増額してきた。赤平観光協会補助金については各年度事業内容に応じて予算化しており、今後も観光振興のため事業の実施に補助する。大型店閉店後の代替案の出店は実現できなかったが移動販売車が運行されることになった。

【質問】

公約の一つである「事業の決定過程の透明化」については財政運営に影響を及

議会の動き

- 6/21 令和4年第2回定例会（～24日まで）
- 6/21 議会運営委員会
- 6/22 行政常任委員会
- ・赤平市議会議員及び赤平市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部改正について
- ・赤平市過疎地域における固定資産税の課税免除に関する条例の一部改正について
- ・赤平市国民健康保険条例の一部改正について
- ・赤平市介護保険条例の一部改正について
- ・エルム高原4施設の指定管理に係る方針について
- 7/26 全国市議会議長会第162回地方行政委員会（東京）
- 8/31 議会運営委員会

- 9/5 令和4年第3回定例会（～16日まで）
- 9/5 議会運営委員会
- 9/5 決算審査特別委員会（正副委員長互選）
- 9/8 行政常任委員会
- ・赤平市職員の育児休業等に関する条例の一部改正について
- ・赤平市税条例等の一部改正について
- ・8月16日大雨によるパークゴルフ場の被害について
- 9/9 決算審査特別委員会（～14日まで）
- ・令和3年度赤平市一般会計、国民健康保険・後期高齢者医療・用地取得・介護サービス事業・介護保険特別会計、下水道事業・水道事業・病院事業会計決算について
- 10/4 北海道市議会議長会道央支部協議（書面会議）
- 10/25 北海道市議会議長会正副会長会議・役員会（砂川市）

◎第16回赤平市赤い羽根共同募金チャリティーに議員10名が参加しました。
ZARDの「負けないで」を熱唱しました♪



◎意見書の送付について

次の2件の意見書を可決し、送付しました。

- 国土強靱化に資する社会資本整備等に関する意見書
- 政府の「難民」認定を国際水準まで高め、支援強化を求める意見書

送付先：衆議院議長 参議院議長 内閣総理大臣 総務大臣 財務大臣 国土交通大臣
内閣官房長官 国土強靱化担当大臣 内閣府特命担当大臣（防災）

※詳しい議決結果及び賛否の公表については、赤平市議会ホームページに掲載しています。

編集後記

9月5日から第3回定例会が開催され、7人の議員が一般質問を行いました。

物価高騰対策、コロナ対策、福祉対策、地域公共交通の整備など、幅広く活発な質問をし、市長からも真摯な答弁がありました。また、決算審査特別委員会において、令和3年度会計決算の審査が行われ、16日に閉会しました。

今回の議会の傍聴には、赤平小学校の児童が2日間に渡り、議会の傍聴にお越しいただき、一般質問の様子を見学されました。開かれた議会という意味からも大変意義のある事と感じました。

市民の皆様にも少しでも議会の様子を知って頂くためにも、多くの方々に傍聴に来て頂ければと思います。

今回も議会の内容を簡略にまとめた「かわら版」をお送りしますので、議会について関心を寄せて頂きたいと願っております。

東 成一

かわら版編集委員会

委員長

- 鈴木 明広
- 安藤 繁
- 東 成一
- 木村 恵
- 五十嵐美知